

例年、2泊3日で実施している理数科サイエンスキャンプですが、今年度はコロナ対策を徹底しながら、日帰り2日間で大学での研究、校内に戻ってからのオンラインでの発表会の形で実施することができました。

○大学教授からの講義

1日目の前半は、理数科1年生が大学での研究を知る最初のステップとして、岡山大学理学部金田教授から、大学での学びや研究についての講義を受けました。



開会行事



金田教授による講義



○実験を通じた探究活動

1日目の午後～2日目は大学生・院生のティーチングアシスタント（TA）と実験を通じた探究活動に取り組みます。身近な現象から、大学の基礎研究に近いものまで、さまざまなテーマで計画→実験→検証のサイクルを通して、探究的な考え方や、具体的な研究手法を身に付けていきます。今年は①BZ反応②金属樹の成長③石鹼の合成④反応熱の測定⑤ナイロン66の合成の5つのテーマに分かれて研究を行いました。



大学生による説明



現象の確認・実験



記録・考察

○実験のまとめ、プレゼン発表

サイエンスキャンプの醍醐味は、口頭発表までの研究の一連の流れを体験できることです。学校に戻ってからも実験のまとめ、考察、口頭発表の準備と探究活動が続きます。大学での研究の1週間後のオンライン発表では教授や大学生の質問とアドバイスを受けます。



実験のまとめ・プレゼン作成



Zoomを使ったオンライン発表会

